

2. 鉄道関係

	タイトル	意見等
1	四国新幹線建設についての提言	四国新幹線をはじめ、整備新幹線の建設をなんとか進められないかと考える者です。 整備新幹線の建設には、建設費の問題もさることながら、並行在来線の問題が生じ、これが新幹線建設の大きなネックとなります。 そこで、並行在来線問題が生じなければ、整備新幹線の建設は、今よりもスムーズに進むのではないかと考えました。 つまり、新幹線の高架を新たに作り、そこに各駅停車用の駅も建設し、同じ線路に新幹線と各駅停車を走らせます。 ローカル新幹線では、高速の新幹線は1時間に1本か2本しか走りませんから、合間に各駅停車を走らせることも可能なはずです。 そして、現在の在来線は廃止します。これで並行在来線問題を解決します。 やや強引ではありますが、四国新幹線をはじめ、ローカル新幹線を建設するには、これしか方法はないのではと考えますが、いかがでしょうか？ ぜひ四国新幹線を実現させてください。
2	四国新幹線は淡路島ルートで！続	昨年の9月に提案した続きになります。 費用便益比だけで判断しないで下さい。 収支採算性は、淡路島ルートが452億／年、岡山ルートが99億／年、のようであり、淡路島ルートの方が優位ではないのか。 実現すれば、第二の国土軸が完成するのである。 山陽新幹線で災害が起きた場合、代替になるのは心強い。 また、関空に新幹線が着くメリットは、西日本を活性化させる。この事からも、淡路島ルートは、国の為になるのではないのか。 またこのルートなら、徳島から新大阪が40分で結ばれる。日本第二の都市が通学、通勤圏になるのである。 心が躍りませんか。徳島の価値上がりませんか。 万年、知名度も低く、魅力度ランキング下位の徳島の未来は、全てここにかかっている。 将来的なこのルートの含みをもたせていたが、2本の新幹線ルートが出来る訳がない。 まず、淡路島ルートでの四国新幹線を実現してもらえませんか。
3	徳島未来会議2025	○私が描くグランドビジョン ※ JR高德線(徳島-高松間)の在来線の電化整備及び通勤通学圏内のJR牟岐線(徳島-阿南間)の在来線の電化整備による鉄道の高速化事業を行う。 ・特急「うずしお号」の特急電車化で阿南-高松間に直通の特急電車「うずしお号」の運行の開始 (阿南市の四国電力橋火力発電所と高松市の四国電力本社との所要時間を短縮する。) ・寝台特急電車「サンライズ瀬戸号」の阿南までの乗り入れの開始 ・通勤通学における輸送力の強化を図る。 ・電化設備整備工事は、JRTT鉄道・運輸機構が行い、徳島県は鉄道・運輸機構に委託料を支払うだけで済む。